

研究科

Advanced Studies

AS

2022年度 研究科

○=実務教員授業 OL=オンライン授業

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
研究1						4
	○ブランディング	添田将平	前	火5/6	423	
	○プロジェクト演習	馬場恵・特別講師	後制	火1/2	423	
研究2						4
	○美学A	奥村大介	前	木1	OL	
	○美学B	奥村大介	後	木1	OL	
研究演習 1-1	* テーマ制作はゼミ制(所属は基本1ゼミですが、他のゼミ開講時間も制作時間として出席をとります)					6
	○テーマ制作	齋藤浩・特別講師	前	月1/2	621	
		牛脇達夫	前	木3/4	621	
		馬場恵・特別講師	前	水3/4	621	
	○キャリアサポート	馬場恵・特別講師	前	月3/4	621/423	
	前期講評	担当教員全員	前	調整週/1日間		
研究演習 1-2	* テーマ制作はゼミ制(所属は基本1ゼミですが、他のゼミ開講時間も制作時間として出席をとります)					6
	○テーマ制作	齋藤浩・特別講師	後	月1/2	621	
		牛脇達夫	後	水1/2	621	
		馬場恵・特別講師	後	水3/4	621	
	○キャリアサポート	馬場恵	後	月3/4	621/423	
	後期講評	担当教員全員	後	調整週/1日間		
修了制作						6
	○修了制作指導	齋藤浩・特別講師	制	月1/2	621	
	"	牛脇達夫	制	水1/2	621	
	"	馬場恵・特別講師	制	水3/4	621	
	制作指導	研究科教員	上記授業時間外	月~金1~4限	各教室	
	修了制作審査/講評	担当教員全員		制作週外/2日間		
	○修了制作展 展示	馬場/助手		制作週後/1週間		
特別研究(学術造形科目)						4単位以上
	任意の学術造形科目 2科目以上					4

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

修了に必要な修得最低単位数

	科目種類	
2022年度 入学生	専門科目	26
	特別研究(学術造形科目)	4
	合計	30

科目名	研究1	授業分野	ブランディング
担当教員	添田将平		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照 2013年～ランドー&フィッチ勤務 企業やサービス、製品のブランディングデザインに従事 (主なクライアント) 株式会社デサント、マツダ株式会社、工機ホールディングス株式会社、三井不動産リアルティ株式会社、 江崎グリコ株式会社、川崎重工業株式会社 等		
授業内容 および 到達目標	ブランディング会社 ランドー&フィッチ(LANDOR & FITCH)で実際に行っている開発プロセスを踏まえ、ディスカッション、コンセプト作り、デザイン開発、プレゼンテーションを実践し学習することで、ブランディングという思考の獲得を目指す。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 Brandingってなに？ 講師自己紹介。生徒自己紹介。ランドーの事例を含めながらブランディングの概念を説明。 2週 ロゴデザイン開発 自分自身を分析し、キーワードを抽出。キーワードを元にロゴデザイン(スケッチ)。 スケッチしたアイデアから一つを選び MACを使いロゴ開発 3週 プレゼンテーション MACを使いロゴ開発。各自プレゼンテーション。 4週 CI 背景理解・分析 特定のブランド(企業、製品)を選定し、背景理解、分析を行う。(グループ) 5週 CI 背景・分析・開発の目的 1回目の分析結果を発表。コンセプト抽出の為にワークショップを行う。(グループ) 6週 CI 背景・分析・開発の目的 2回目で抽出されたブランドのキーワード、イメージ、スケッチ等から、コンセプトを 3方向制作。(グループ) 7週 CI コンセプト開発 3回目で制作した3方向のコンセプトの発表。 コンセプトの中から1つを選定して、ブランドマークのアイデアスケッチ。(各自) 8週 CI デザイン開発 1 ブランドマークのアイデアスケッチ。MACを使いデザイン開発。(各自) 9週 CI デザイン開発 2 MACを使いデザイン開発。ブランドマーク決定。(各自) 10週 CI デザイン開発 2 決定したブランドマークを元にコンセプトを表現する展開物を制作。(各自) 11週 プレゼンテーション 各自でプレゼンテーション。講評。 12週 プレゼンテーション 各自でプレゼンテーション。講評。 ブランディングの難しかった点や、良かった点等、意見をもらいながら、今後のアドバイス等。		
初回持参物	鉛筆、黒サインペン		
準備学習	自分の身の回りのモノ、コトや街をよく観察すること。 毎回異なるため、具体的には各授業の最後に伝えます。		
成績評価方法 および 評価基準	成果に対し総合的に成績を判断する。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究1	授業分野	プロジェクト演習
担当教員	馬場 恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 版画をベースとした作品制作。2018年アーツ前橋 "Art Meets 05"にて作品発表。 2017年三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
授業内容 および 到達目標	自分の制作や作品が、これから社会の中で持ちうる役割や機能を考え、現実への問題意識、制作への企画力、作品化に必要なスキルの獲得を目標に共同プロジェクトを行います。交換留学生との共同制作で国際的視野を培い、学校外での展示会での発表を企画運営することで、社会への提示と様々な分野との共同制作から自分の制作への客観的認識と実践力を身につけます。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 フランスからの交換留学生との交流プロジェクトのイントロダクション(交流展のプランニング) 2週 共同制作の内容と交流展のメインコンセプトの決定 3週 留学生との共同プロジェクト1: 東京をテーマとした取り組みのディスカッション 4週 // 2: 共同リサーチと意見交換 5週 // 3: 制作 6週 // 4: 制作 7週 // 5: 制作 8週 // 6: 交流展の会場デザインと設営計画 9週 // 7: 最終展示準備 10週 展示作業 11週 人形町Vision's 交流展会場にて作品講評会 12週 交流展反省		
〈制作期〉	1週 社会におけるクリエイションの現在と自らのクリエイションについてのディスカッション 2週 アート/デザイン・クリエイションがこれから社会で実現できることについてのディスカッション 3週 各自の行っていく、これからのクリエイションについてのプレゼンテーション 4週 卒業制作展展示打ち合わせ		
初回持参物	ポートフォリオ/筆記用具/ノート/スケッチブック		
準備学習	日頃から、興味のある様々な展示会を見学し、その効果的な要素を記録しておく。分野の違うクリエイションにも興味を持ち、自分らしい視点で意見を言える姿勢を保つ努力をすること。		
成績評価方法 および 評価基準	積極的に自分で考え、興味を持って調べること。 情報を伝える力と受け取る力を身につけ、クラスのメンバーが共有する制作に積極的に関わって行くこと。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

科目名	研究2	授業分野	美学A・B
担当教員	奥村大介		
専門 実務経験等	専門:文化史/思想史 2013年より大学講師		
授業内容 および 到達目標	人間は美をつくりだすとともに、美を言葉で捉えて、美学・詩学・芸術学と呼ばれる知識をつくってきました。本講義ではこれらの領域の基礎知識を概観し、クリエイターにとっても把握しておくべき芸術をめぐる思想的・哲学的問題をともに考えます。西洋思想のなかで絵画・彫刻・建築・文学・舞踊などの芸術はどのように捉えられてきたのかを知り、美を捉え・美を創り出すものとしての人間の感性について、的確な言葉で表現できるようになることがこの授業の到達目標となります。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 序論と解題 2週 美と芸術(1) 3週 美と芸術(2) 4週 感性論＝美学、創作論＝詩学(1) 5週 感性論＝美学、創作論＝詩学(2) 6週 自然美(1) 7週 自然美(2) 8週 模倣と複製(1) 9週 模倣と複製(2) 10週 創造性(1) 11週 創造性(2) 12週 小括		
〈後期〉	1週 芸術と空間(1) 2週 芸術と空間(2) 3週 天才(1) 4週 天才(2) 5週 趣味と味覚(1) 6週 趣味と味覚(2) 7週 印象と表現(1) 8週 印象と表現(2) 9週 想像力(1) 10週 想像力(2) 11週 型と形(1) 12週 型と形(2)		
	参考書 竹内敏雄『美学事典(増補版)』弘文堂、1974年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年 佐々木健一『美学への招待』中公新書、2004年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年		
初回持参物	筆記用具、夢みる心		
準備学習	自分が出会った芸術作品について、また自らの創作について、「それは何をしようとしているのか」を考える習慣をもつこと。		
成績評価方法 および 評価基準	毎回の授業の前半を講義、後半は各授業の感想文の作成や、授業内容に付随したスケッチの制作などを行います。評価は提出物と出席で行います。レポートの書き方、文献調査の仕方などは授業内で指示します。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究演習1-1・1-2	授業分野	テーマ制作
担当教員①	馬場 恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 版画をベースとした作品制作。2018年アーツ前橋 "Art Meets 05"にて作品発表。 2017年三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
担当教員②	牛 膺 達 夫		
専門 実務経験等	専門: 彫刻家(専門領域 立体造形 CG制作) 1986年 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 2001年～2013年 北海道開発局 帯広開発建設部 千代田新水路事業 CG制作 2015年 国土交通省 荒川下流河川事務所 CG制作		
担当教員③	齋 藤 浩		
専門 実務経験等	専門: グラフィックデザイナー 文化庁メディア芸術祭優秀賞、準朝日広告賞、毎日広告デザイン賞優秀賞・奨励賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ入選、世界ポスタートリエンナーレトヤマ銅賞他。 主な仕事は広告、装丁、VI計画、パッケージなど。tong-poo graphics主宰。		
授業内容 および 到達目標	基本的には、各自のこれまでの学びから得た課題や新しい分野への興味をベースに自分の研究テーマを設定。年間で複数の課題、もしくは一つの課題を継続制作しても良い。問題の分析、制作についての発想力、企画力のブラッシュアップ、各分野で獲得すべきスキルを身につける、戦略的な学びのプランニングと実践を行います。個別面談形式での指導で、就職、進学、将来の制作につながる骨子となる制作に取り組みます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	<ul style="list-style-type: none"> ●前期中完成要素:現時点での自分を最大限アプローチできるポートフォリオ 1週 専攻分野担当講師のクラスで面談(これまでの制作と自身の通年の研修計画の確認) 2～5週 講師によるヒアリング、プロジェクト立案の為のリサーチ、通年の制作発表計画立案作成 6週 半期終了のテーマ制作および通年の修了制作・第1回プレゼンテーション & 中間講評 7～11週 プロジェクトの確定、テーマや制作物のリサーチ、制作 制作の幅を広げる新しい表現方法への挑戦やアプローチの検討 12週 第2回プレゼンテーション & 合評(年間プロジェクト:完成までのプロセスの設定を完了。複数プロジェクト:完成。) 		
〈後期〉	<ul style="list-style-type: none"> 1週 後期の制作内容確認。継続制作指導の企画および新規企画の確認。制作指導。 2～5週 目標に合わせた制作の目標設定。修了制作の制作開始。 <ul style="list-style-type: none"> ● 就職希望者 就職活動に効果的にアピールできるプロセスの見せ方や完成度の高い作品の完成。 ● 大学院進学希望者 大学院レベルの研究につながる目標の設定の見直しや制作の完成。学校への提出作品の完成指導。 ● 作家活動を目指す 学校外への活動の具体化。展覧会や公募展への応募作品の完成指導など。 6週 「修了制作」第1回プレゼンテーション & 中間講評 7～11週 制作指導 12週 第2回プレゼンテーション & 修了制作審査 		
〈制作期〉	<ul style="list-style-type: none"> 1週 修了制作展に向けた作品制作指導 2週 // 再審査 3週 修了制作展に向けた作品制作指導 4週 // 再審査 		
初回持参物	ポートフォリオ(自分の過去の作品集) / 研修計画書 / 筆記用具		
準備学習	研究科以前の学びで達成できなかったことを自己分析し、克服すべき課題を見つけておくこと。		
成績評価方法 および	自らの制作と社会との関係を意識しつつ、企画・制作スキル・提示する方法を考えながら制作を進行すること。成果物だけでなく1年間の取り組み姿勢とプロセスを評価。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究演習1-1・1-2	授業分野	キャリアサポート
担当教員	馬場恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 版画をベースとした作品制作。2018年アーツ前橋 "Art Meets 05"にて作品発表。 2017年三省堂書店 Naturalis Historialにてオリジナルブランドの展示会開催。 2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。		
授業内容 および 到達目標	大学院進学・就職活動・作家活動の継続など研究科生の目指す様々な進路への直接的なアプローチを年間で指導。 完成度の高いポートフォリオ制作と、入試対策の研究計画書作成や、就職活動での効果的な自己アピール、 作家活動に必要なプランニングなど、プレゼンテーション力を磨くことにも力を入れて学びます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 インTRODクシヨン: 私になりたい私 1年後の目標達成と将来のクリエイター像を見通す 2~4週 《ポートフォリオ分析》 1: 現在のポートフォリオによるプレゼンテーション 2: 各目的に必要なポートフォリオの研究と改善点の分析 3: 各自の問題点の洗い出しと以降の制作スケジュール 5~12週 《進む分野の現状研究》 ● 就職希望者 業界の動向・企業研究。自分の目指す職種の分析、自分の敵性とアピールポイントの整理 ● 大学院進学希望者 受験校の確定。担当教授の選定。受験スケジュール、制作スケジュール確認。研究計画書の作成指導。 ● 作家活動を目指す 目指したい方向性の明確化。参考にすべき活動を行っている作家のリサーチ。応募する公募や展示の研究。 ○ 各業界関係者や卒業生によるレクチャーや、ポートフォリオを通じた添削指導も随時実施。		
〈後期〉	1週 目標の確認: 前期で達成できたこと。これからすべきことの整理。 2週 各自の後期以降の方向性についてのプレゼンテーション。 3~12週 〈具体的な活動に向けた準備とアプローチ〉 ● 就職希望者 就職活動の進行状況、随時確認。アピールポイントの整理と、ポートフォリオの改善。 ● 大学院進学希望者 教授面談の準備。研究計画書の完成。ポートフォリオの改善。試験対策(面接・小論文の練習)。 ● 作家活動を目指す 公募展への出品。これからの活動についての計画検討。ポートフォリオの改善。 ○ 各業界関係者や卒業生によるレクチャーや、ポートフォリオを通じた添削指導も随時実施。		
〈制作期〉	1週 目標達成に向けたアプローチ: 私になりたい私 = 今、やるべきアプローチの確認 2~4週 個別指導: 各自の取り組みの問題点、改善点を明確化。目標達成に向けた対応を指導。		
初回持参物	ポートフォリオ／筆記用具／ノート／スケッチブック		
準備学習	希望する進路の可能な限り具体的な目標をあらかじめ考えてくること。企業のリサーチ、受験する大学院のリサーチなど。		
成績評価方法 および 評価基準	進路に対する明確な意識を持って、自ら興味を持って調べ、自ら勇気を持って行動すること。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	修了制作	授業分野	修了制作
担当教員	研究科 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	①前期からの通年の企画、前後期制作期での複数の企画など、プロセスを含めた修了制作指導 ②研究1 / 2 および研究演習と連動して通年で 修了制作完成に向けた展開 ③リサーチ・プレゼンテーション・アプローチのプロセスを経て、社会性のある制作を目指します。		
授業内容詳細・進行			
	<ul style="list-style-type: none"> ○通年で制作を通じ、継続的に取り組める、自らの核になる制作の課題を見いだします。 ○各クリエイション分野の現在の動向にも興味を持ちながら、自分の特性やアプローチの方法を模索し、個性の追求と共に、社会に繋がるクリエイションへの展開を目標とします。 ○自ら興味を持ち、現場でのクリエイションの状況をリサーチし、自分のオリジナリティーについて考え、制作での試行錯誤を重ね、自信を持って社会にプレゼンテーションできる修了制作を仕上げます。 		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 評価基準	①担当分野の講師や特別講師との制作を通じたコミュニケーションから、じっくりと時間をかけて自分の特性やクリエイションの完成度を育てていきます。②自らに必要な知識、スキルを客観的に判断し、通年の講座受講などをプランニングする事。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可